

---

# 最後のロングサーブ

Mr.T

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

最後のロングサーブ

### 【Nコード】

N5107T

### 【作者名】

Mr.T

### 【あらすじ】

これは、僕の実際に起きたことなんです。道徳の教科書に出てきそうな奴なので読んでみてください。

これは、私がまだ中学2年の頃のお話です。

「ほら、早く準備しろ！」

先輩の声です。私の通っている学校は部活動が特に盛んで、特に卓球部は都大会でも上位に入るほどの強豪でした。

部員は、

3年生 1人 2年生 7人 1年生 10人

とレギュラーは2年生中心になっていた。

春季都大会では団体ベスト8に入ったので夏季大会では良いところに入れました。

3年の高木先輩は、明日の夏の大会で負けたら引退してしまいます。なので、とても張り切っています。

先生のもと最後の調整が終わり気持ちが高ぶってきました。

そして大会当日

1回戦、3回戦までは3対0で圧勝だったのだが、4回戦目悲劇が起こった。

相手は多摩地区第1位の強豪、中でも2人としてつもなく強い奴がいたのです。

1番手 キャプテン 高木先輩 対 相手のエー

ス 結果 0ー3

2番手 学校史上最強のカットマン 宮本 対 ペン粒の3

番手 1ー3

3番手 2年の中で最高のダブルス 本村・佐藤 対 5番手・6番手 3-1  
4番手 期待のエース 高橋 対 相手の2番手 1-3

結果、1-3という完敗でした。

しかし、まだ個人戦が残っています。

次の日、僕は2回戦で全国出場経験のある相手に負けて、高木先輩のところまで応援していました。

3回戦、相手は左利きのドライブマン。ロングサーブはどんな回転でも早いドライブで返してくるのです。高木先輩はロングサーブ主戦型なのでとつもなくやりずらいです。

1セット目を取られ、2セット目も取られそうと気付いたときコーチが来ました。

そして2セット目も取られ、コーチにアドバイスをもらいました、やはりサーブのことについてでした。3セット目、コーチのアドバイス通り短いサーブからの展開にしました。そして競って10-11で先輩のサーブです。短いサーブからの展開になるのかと思いきや、

ロングサーブを出したのです。そこからのドライブ対ドライブ。いったい何本続いたのでしょうか。激しい攻め合いでした。最後は相手がネットに引っ掛けて入ってしまいました。

10-12 完敗です。

コーチに最後のアドバイスを聞いていたとき、先輩は涙を流していました。

結局、今年は関東大会にいけませんでした。

その後、コーチになぜロングサーブなのか聞かれました。

「僕には、ロングサーブしか取り柄がないからです」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5107t/>

---

最後のロングサーブ

2011年10月8日17時22分発行